



いみず 市議会だより

Imizu City Congress News

No.62

令和3年5月1日発行



国の文化財指定を記念した放生津八幡宮曳山巡行

4月

- 23日 民生病院常任委員会
- 22日 産業建設常任委員会
- 21日 **〔臨時会〕**
議会運営委員会、本会議、
総務文教常任委員会、
予算特別委員会
- 19日 議会運営委員会、
全員協議会、
総務文教常任委員会
- 16日 議会運営委員会
- 15日 広報委員会

3月

- 19日 本会議、総務文教常任委員会、
議会運営委員会
- 18日 議会運営委員会、
予算特別委員会、
議会運営委員会
- 17日 予算特別委員会、
議会運営委員会、
広報委員会
- 15日 議会改革特別委員会、
産業建設常任委員会、
議会改革特別委員会、
広報委員会
- 12日 産業建設常任委員会
- 11日 民生病院常任委員会
- 10日 総務文教常任委員会
- 9日 全員協議会、予算特別委員会
- 8日 本会議（一般質問）
- 5日 本会議（代表質問）、
全員協議会、広報委員会
- 1日 **〔定例会〕**
議会運営委員会、本会議、
全員協議会

2月

- 22日 議会運営委員会、
広報委員会、全員協議会
- 17日 **〔臨時会〕**
議会運営委員会、本会議、
総務文教常任委員会、
予算特別委員会
- 15日 議会運営委員会、全員協議会
- 9日 議会改革特別委員会専門部会
- 1日 議会運営委員会

市議会のひびき

代表質問



【自民党新政会】
竹内美津子 議員



- 1 政策公約の達成状況と令和3年度当初予算について
- 2 小・中学校におけるいじめ、不登校等の現状と対策について
- 3 キャッシュレス決済ポイント還元・消費喚起事業について

問①▶ 市長3期目の政策公約の達成状況及び評価を伺う。また、今後の本市における政策課題をどのように捉えているのか。また、令和3年度当初予算において、どのような事業に重点的に取り組むのか、見解を伺う。

答▶ 3期目の就任にあたっては、市民と一緒に創るまちづくり、子どもも高齢者も幸せなまちづくり、市民の暮らしを守るまちづくり及び射水らしさが伝わる魅力づくりの4点を目指すまちづくりの方向性と位置付け、各施策に取り組んできた。概ね順調に進捗してきたものと考えているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等、新たな課題への対応も求められており、引き続き未来世代に選ばれるまちづくりの実現を目指す。また、令和3年度予算の重点事業としては、新型コロナウイルス感染症対策とデジタルトランスフォーメーション推進を2つの柱とし、この2つの柱を軸として、利便性が高く、市民サービスの向上を図る事業に取り組み、新しい未来の形を市民の皆さんと共に創り出していく施策を積極果敢に展開していきたい。

問②▶ 小・中学校におけるいじめ・不登校等の現状と、報告アプリ「STOPit」の導入について、見解を伺う。

答▶ 中学校のいじめ認知件数は減少傾向にあるものの、不登校等については、国や県と同様に増加傾向であり、喫緊の課題として受け止めている。一人ひとりに応じた多様な相談形態を整えることは、きめ細かい相談体制の充実という面からも、匿名での報告アプリ「STOPit」の導入については、他自治体の導入状況やアプリ活用による効果等について、調査研究していく。



問③▶ キャッシュレス決済ポイント還元消費喚起事業について、地域経済に与えた影響と効果、及び事業の最終的な決済金額と社会的影響について、見解を伺う。

答▶ この事業については、受託事業者と決済事業者による試算に基づき事業実施を判断したものであるが、その試算をはるかに上回る消費行動が発生し、早期に終了せざるを得なかったことについて、事業者、消費者の皆様にご迷惑を招き申し訳なく思っている。ポイント還元見込額については、10日間で最大5億4千3百万円が見込まれており、決済金額は19億4千万円、総務省の産業連関表に基づく経済波及効果の試算は推計28億3千万円と見込んでいる。中小事業者においても相当の消費喚起効果があったものと捉えており、キャッシュレス決済の普及にも大きな成果があったものと考えている。

その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症の影響と対策について
- デジタルトランスフォーメーションについて
- 地域共生社会の実現について
- SDGs持続可能な開発目標について
- 豪雪への対応について
- 文化行政について
- 次期市長選に向けた市長の思いについて

代表質問



【自民議員会】
伊勢 司 議員



1 令和3年度予算編成について

2 第3次射水市総合計画の策定について

問① i ▶ 令和3年度の予算編成にあたっての基本的な考え方について伺う。

答 ▶ 厳しい財政状況の中、予算編成にあたっては、全ての事務事業について有効性、効率性、優先性等の観点から実績や効果を検証し、真に必要な施策に予算が重点配分されるよう厳格な優先順位付けを行い、限られた財源の重点化に努めた。このことに加え、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染拡大防止対策と地域経済の回復との両立を図りながら、第2次総合計画後期実施計画を着実に推進し、未来世代に選ばれるまちづくりを更に加速させることを予算編成の基本方針とした。

問① ii ▶ 代表的な重点施策について伺う。

答 ▶ 喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策とデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進を2つの柱とした。



新型コロナウイルス感染症対策では、行政情報配信サービスを活用し、新型コロナウイルス感染症に関する情報や災害・防災情報を発信するなどといった、SNSを活用した施策をはじめ、民間の保育園や認定こども園が実施する手洗い等の自動給水栓化に対し補助を行う事業や、市内の商工業事業者などが連携した市民主導型の小規模なイベントに対して支援を行うことで、新たな地域の賑わい創出を図る補助事業などを実施する。

DXの推進については、全庁的な取組として、民間から専門的な知識・経験を持つ人材をCIO補佐として任用し、RPAやAIの活用などといった庁内デジタル化の推進、更には、新たなデジタル技術を活用した地域DXの推進など、本市のDXに関する事業を推し進めていきたい。

問② ▶ 現行の「第2次射水市総合計画」を1年間前倒しして、令和5年度をスタートとする新たな総合計画の策定に取り組むとのことだが、そうした考えに至った経緯を伺う。

答 ▶ 現計画は策定から7年経過しており、これまで計画に掲げた施策を着実に推進してきた。一方、急速な人口減少や情報通信技術の飛躍的な進展等、現計画に位置付けのない新たな課題や観点が表面化している。こうした状況に加え、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略、都市計画マスタープラン及び地域公共交通網形成計画といった本市のまちづくりや人づくりの根幹をなす計画がスタートしたことから、各計画を踏まえた本市の新たなグランドデザインを市民の皆さんとともに描くため、計画期間を1年前倒しし、令和5年度をスタートとする第3次射水市総合計画の策定に着手するものである。

その他の質問

- 放生津八幡宮秋季例大祭の重要無形民俗文化財指定について
- コロナ禍での監査について
- キャッシュレス決済事業について
- 成人式について
- リモート会議について

一般質問

1 新型コロナウイルスワクチン接種について

2 防災対策の推進について



不後 昇 議員

問①▶ 新型コロナウイルスワクチン接種について伺う。

答▶ ワクチン接種推進班は、保健センター所長が班長となり、保健師等保健センター職員5名と福祉保健部内から職員5名の計11名で事業を進めている。ワクチン接種が円滑に実施できるようワクチン接種推進班を中心に全庁挙げて取り組んでいく。ワクチン接種体制は、市内指定医療機関での個別接種を基本とし、補完的にミライクル館での集団接種を行う準備を進めている。ワクチンの供給量が限られることから、まずは高齢者施設などでの接種を行い、ワクチン供給量が十分になれば、本格的に接種を進めることができると考えている。個別



接種をお願いする医療機関は、接種曜日、時間帯等について確認しているところであり、集団接種は、土日を含め毎日実施することを想定し、市医師会と調整を行っていく。

問②▶ 地域防災力を高める拠点づくりについて伺う。

答▶ 国では、広域的な防災拠点としての機能を有する道の駅を、各都道府県に1~2か所、順次認定すると聞いており、国や県の動向を注視していく。また、道の駅周辺エリア基本構想において、現行の防災拠点施設としての機能の維持・拡充にも取り組んでいく。

その他の質問

- 三期12年目の年度に当たっての市長の思いについて
- 新年度予算編成と行財政改革の取組について

一般質問

1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

2 キャッシュレス決済事業について

3 新年度イベント開催について



加治 宏規 議員

問① i ▶ 本市における交付限度額を伺う。

答▶ 本市の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付限度額は、16億856万7千円である。

問① ii ▶ これまでの交付金の使い道を伺う。

答▶ 市民の生活支援や事業者の事業継続支援、さらには感染拡大防止対策に関する事業などについて、市民ニーズを捉えながら、きめ細かな支援が迅速に市民の皆様に行き届くよう、様々な施策を積極的に展開してきた。

問① iii ▶ 交付金残額の使い道を伺う。

答▶ 感染防止対策はもとより、市民生活を守り、地域経済を回復させるための取組に活用していく。

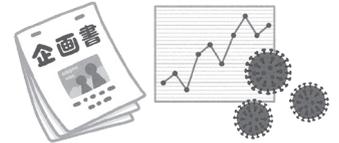
問②▶ 早期終了した理由を伺う。

答▶ 店舗によっては消費者の皆様が集中され、新型コロナウイルス感染症の感染リスク回避が十分行えないと判断したこと、店舗の混雑や商品の欠品によ

り、消費者の日常的な買い物に支障をきたしたこと、交通渋滞等により、市民の安全安心の確保が困難になったこと、一定のポイント還元額に到達する見込みとなったこと等の理由を総合的に判断した。

問③▶ 各種イベントの開催基準について、見解を伺う。

答▶ 本市としては、県が示しているロードマップののっとり、感染状況のステージに合わせた基準により開催されるようお願いするものである。



その他の質問

- 本開発地区の開発について
- 旧桜町下水処理場について

一般質問

1 新生児等聴覚検査費用助成事業について

2 道路消雪施設の充実について



小島 啓子 議員

問①▶ 市外や県外の実施医療機関で受診した場合の対応について伺う。

答▶ 市内の産科医療機関を含め、県内のどこの産科医療機関で検査しても助成対象とし、助成方法は委託医療機関の場合は現物給付で、委託医療機関以外の場合は償還払いとなる。また、県外で当該検査を受けた場合も対象となり、助成方法は償還払いとなる。

問②▶ 薬勝寺池を水源とする消雪施設において、散水ノズルのゴミ詰まりの解消に向けた対策が必要だと考えるが、今後どのような対応策を検討しているのか伺う。

答▶ 散水ノズルの詰まりについては、薬勝寺池や農業用排水などの表流水を水源とする施設で、同様の事例に苦慮しており、現在実施している冬期間後の点検結果を基に、市全体の状況を見ながら修繕箇所を検討する必要がある。

これまでも機械の改良や、取水口付近の浚渫、取水ピットやスクリーンの清掃等を実施している。ゴミ詰まりの原因は、機械や水質などさまざまな要因が考えられることから、現在除塵機メーカーや施工業者において、どこに問題があるのか調査を行っており、今後の対応策については、その調査結果を基に検討する。



その他の質問

- 教育相談・支援体制の充実について
- 芸術文化振興について

一般質問

1 令和3年度の小中学校の運営について

2 今冬の大雪による影響と除雪体制について

3 射水市キャッシュレス決済ポイント還元・消費喚起事業について



高畑 吉成 議員

問① i ▶ 令和3年度の学校行事の予定について伺う。

答 ▶ 現時点では一昨年同様とし、状況によって実施時期の変更や運営の仕方等を工夫して実施していく。

問① ii ▶ 夏季休業を5日間短縮した狙いについて伺う。

答 ▶ 教員が子ども達に寄り添う時間を多く確保し、個別指導等きめ細かい指導の充実を図る。また、不登校の抑制にも効果があると考えている。

問① iii ▶ 大雪等での臨時休業の判断基準について伺う。

答 ▶ 積雪状況や通学路の歩道の安全確保、公共交通機関の運行状況等から児童生徒の安全性を総合的に判断し、教育委員会の助言指導のもと、学校長が決定している。

問② i ▶ 除雪作業を実施する道路の優先順序について伺う。

答 ▶ 重要幹線道路と緊急確保路線について優先的に除雪作業を行い、同時に生活道路は1車線幅員の確保を原則としている。

問② ii ▶ 1月の大雪時の消雪装置の稼働状況について伺う。

答 ▶ 水量不足、ゴミ詰まり及び機械故障等22か所で不稼働となった。

問② iii ▶ 町内会等の消雪装置整備や除雪機購入に対する支援について伺う。

答 ▶ 「射水市まちなみ環境整備事業」により補助金を交付している。

問③ ▶ 市内小規模店舗への影響をどのように考えているか。

答 ▶ 店舗の規模にかかわらず、幅広く消費喚起の効果が及んだものと考えている。

一般質問

1 大雪の対策と雪害被害について



根木 武良 議員

問① ▶ 今冬の大雪により市内の意欲ある農家の方々のハウス倒壊による被害が多くあった。頑張っておられる小松菜農家やイチゴ農家の若い方の現状を見せていただいたが、農業経営体の多くは苦しい状態にある。その中での大雪によるハウス被害であり、いま求められているのは、離農者がでることのないよう、一刻も早く踏み込んだ支援策を打ち出すことである。農業用ハウス復旧支援は国が10分の3、県は事業費から共済金と国の補助金を差し引いた自己負担額の10分の3を上乗せ支援すると聞いている。本市としては、どう取り組むのか、これまでの状況を含めて伺う。

答 ▶ これまで国、県の各種支援事業が発表されている。現在、各農業経営体がどの事業を活用するのか、意向調査を実施しているところである。事業量を

把握するとともに、本市の支援策を検討しており、できるだけ早期に被害を受けた農業者にお伝えできるよう努めていく。



その他の質問

- 射水市キャッシュレス決済ポイント還元・消費喚起事業について
- 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について
- 新型コロナウイルス感染症予防について
- 臨海東部地区松くい虫被害木伐採事業について

一般質問

1 地域プロジェクトマネージャー制度の導入について

2 公立小学校における35人学級の導入について



吉野 省三 議員

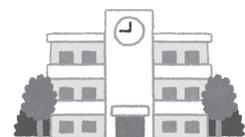
問① ▶ 地域おこし協力隊の活動の成果や課題、及び地域プロジェクトマネージャー制度の導入について、見解を伺う。

答 ▶ 活動成果としては、それぞれの隊員が新たな視点や発想から生まれる事業提案を行い、地元商業者と連携したマルシェや地域スポーツ団体と連携した各種イベントの実施など、賑わい創出・地域活性化・国際交流の推進に繋がっている。課題としては、任期満了後も隊員が地域活動に参画いただけるような支援体制を整えることが挙げられる。また、総務省が新たに制度化する「地域プロジェクトマネージャー」については調査研究していきたい。

問② ▶ 公立小学校における35人学級の導入について、その対応と加配定数の考え方について伺う。

答 ▶ 35人学級を国より2年先行した県の制度を全ての小学校で適用した

場合、最大で令和5年度に4つの学校で8教室が増える。学級数の増加については、多目的室等の普通教室への転用等、既存の学校施設を活用し、費用負担の少ない方法で対応したい。35人を超える多人数学級がなくなっても、学校の規模にかかわらず、どの学校にも担任以外の加配教員は必要であり、加配教職員定数の継続と拡充を国・県に強く要望しており、引き続き強く働きかけたい。



その他の質問

- 小中学校のバリアフリー化について
- 人口動態について

一般質問

1 本市の環境問題への取り組みについて

2 コロナ感染症拡大の影響による生活困窮者への対応について



山崎 晋次 議員

問①▶ 市環境基本計画の策定から3年が経過しているが、不法投棄・海岸漂着ごみの最小化について、進捗管理指標等の状況を伺う。

答▶ 令和元年度のごみの不法投棄件数は65件で、件数は増加しているが、回収量は減少している。海岸漂着ごみ清掃活動数は23回で、基準年度の2倍以上になっている。



問② i ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による県及び本市における生活困窮者の実態について見解を伺う。

答▶ 社会福祉協議会等の自立相談支援機関への新規相談件数は、本年1月時点で県全体では1,094件、本市では131件と、ともに倍増している。また、住宅確保給付金の支給決定件数や生活

福祉資金特例貸付の貸付決定件数も大幅に増加している。これらのことから、県内、市内ともに生活困窮者が大幅に増加していると捉えており、生活保護制度の活用を合わせ、引き続き支援を図る。

問② ii ▶ 生活困窮者等も気軽に利用できる「ふれあい食堂」の開設が必要と考えるが見解を伺う。

答▶ 「ふれあい食堂」の取組は、本市の掲げる地域共生社会の実現に向けた方策の一つとして捉えている。NPO団体等で食事支援施設の実施を検討される団体があれば、支援について検討していく。

その他の質問

- ベイエリア東地区における商業施設・宿泊施設誘致について
- 今冬季間の除雪対応について

一般質問

1 コロナ禍における業務体制について

2 農業用ビニールハウスの倒壊について

3 富山米「富富富」の栽培状況と販売戦略について



津田 信人 議員

問①▶ コロナ禍における市の業務体制について伺う。

答▶ 在宅勤務実施にあたっては、情報セキュリティを確保する観点から、職場のパソコンの持出しを禁止し、書類等の持出しを厳しく制限して実施した。万一、庁舎内でクラスターが発生した場合の対応策は、状況に応じた臨機な対応が必要であり、継続すべき業務を非常時優先業務として行うことを想定し、各部署内でその内容を確認している。また、不足する人員については応援職員として配置する体制を考えている。

問②▶ 豪雪による農業用ビニールハウスの倒壊について伺う。

答▶ 今冬の大雪により、市内の農業用施設では、パイプハウスやガラスハウス等、70経営体において約140棟で全壊や一部損壊の被害が発生し、被害額

は約1億8百万円、再建に要する費用は約3億2千万円を見込んでいる。国の支援は、再建や修繕の事業費支援があり、県の支援は、担い手負担部分の状況に応じて国の支援に上乗せすることとなっている。なお、本市においては有効な支援策を検討中である。

問③▶ 「富富富」の栽培状況と販売戦略について伺う。

答▶ 本市の令和3年産の栽培面積は17経営体で59.2ha、生産量は約381tを計画している。販売戦略では、県内での消費拡大に向けてPRや販売促進対策を県とともに強化していく。



一般質問

1 大雪対策について

2 GIGAスクール構想における小・中学校へのデジタル教科書の導入について



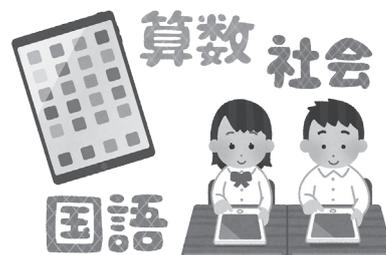
奈田 安弘 議員

問①▶ 今冬の大雪における、本市の対応状況及び今後の対応策について伺う。

答▶ 本市では道路除雪対策本部による除雪作業を進めるとともに、連絡調整会議を開催し、情報共有に努めてきた。除雪車の出動回数は16回で、うち全域出動が14回、山側出動が2回であり、1月8日から16日までの9日間は、日中除雪も実施し、昼夜連続での除雪を行った。今後は、除雪協力業者の借上げ機械管理費の見直しにより、業者の負担軽減と新規参入の環境づくりに取り組むとともに、デジタル技術の活用による除雪履歴の管理や、降積雪状況のリアルタイムでの確認など、道路除雪のDX化の推進について調査研究していく。

問②▶ 国のGIGAスクール構想における、小・中学校へのデジタル教科書の導入について伺う。

答▶ 国では、次の小学校用教科書の改訂時期である令和6年度を、デジタル教科書を本格導入する最初の契機と位置付けている。本市においては、令和3年度の国の児童生徒用デジタル教科書導入における実証事業の研究成果や、本市の実施校の状況を踏まえながら、紙媒体の長所なども理解した上で、引き続き調査研究していく。また、所得格差が児童生徒の学ぶ機会の格差とならないよう、令和3年度から就学援助費に通信費の一部を計上している。



予算特別委員会

令和3年度

射水市一般会計予算

(議案第2号)

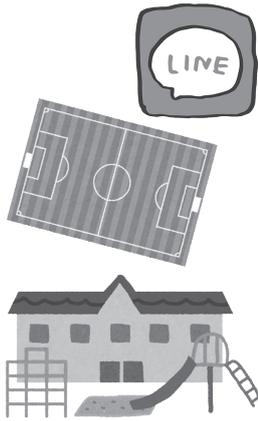
歳入歳出の予算総額をそれぞれ382億8千万円とするもの

主な事業

- ・【新しい日常】創出特別枠
- ・市LINE公式アカウントによる新型コロナウイルス感染症等に関する情報発信事業
- ・DX(デジタルトランスフォーメーション)推進事業
- ・フットボールセンターの整備など

【行革推進特別枠】

- ・クリーンピア射水、大門中学校等、公共施設の長寿命化
- ・保育園調理業務等、民間活力の導入 など



基金の運用実態について

問 低金利時代の中、どのように基金を運用しているのか。

答 「射水市公金等管理方針」に基づき、元金の安全性、流動性及び収益性を考慮し、定期預金や、歳計現金に資金不足が生じる場合における繰替運用を実施している。また、平成27年度から債券による運用を開始し、現在、8債券、計21億円を運用している。

なかでも、平成30年度には、国の「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」に掲げられた具体的な取組である、独立行政法人国際協力機構が発行する社会貢献債(いわゆる「JICA債」)への投資を実施し、資産運用を通じた社会貢献にも取り組んでいる。

道の駅周辺エリア

基本構想について

問 基本構想策定の考え方は。

答 道の駅新湊の利用者満足度をより高めるためには、新たな機能や魅力を加えることが必要であると考えている。基本構想策定にあたっては、道の駅周辺エリアを射水の魅力発信の場としてとらえ、方向性や求められる機能などについてまとめていく。

令和2年度射水市

一般会計補正予算

(第12号)(議案第9号)

歳入歳出からそれぞれ1億1,277万円を減額し、予算総額を582億6,752万8千円とするもの

令和2年度射水市

一般会計補正予算

(第13号)(議案第34号)

歳入歳出へそれぞれ3億500万円を増額し、予算総額を585億7,252万8千円とするもの

フラワーパーク沖塚原

に整備するパーク

ゴルフ場について

問 新斎場に隣接して整備したパークゴルフ場の利用時間やオープン時期は。

答 利用時間は午前9時から午後5時までとし、夏期においては午後6時までとする。休場日は市内の他施設と重ならないよう木曜日とする。今後、芝生の養生期間を設け、その状態を見極めた上で、オープン時期を決定したい。

議会改革特別委員会

検討項目の確認と、今後のスケジュールについて検討しました

- ◆ 通年議会
- ◆ 議員活動の実態把握
- ◆ タブレットの多目的な使用方法の検討

◆ 厚生年金への加入
↓ 9月定例会で調査結果を報告

◆ 6月定例会で結論を出す

◆ 災害時の議会対応
↓ 市の総合防災訓練と

合わせて実施



3月9日



3月17日



3月18日

総務文教常任委員会

議案4件を可決すべきものとしました。
所管事務について11件の報告を受けました。

射水市市税条例の 一部改正について (議案第17号)

【概要】

入湯税の課税免除の対象者を拡充する。

【対象者】

- ・地域住民の福祉の向上を図るため公益法人等が設置した施設の浴場に入場する者
- ・学校教育法第1条に規定する学校(大学を除く)の行事として行われる修学旅行等で教職員が引率して行われるものに参加する児童、生徒又は学生並びに引率する教職員及び介添者

【施行期日】

令和3年4月1日

【問】

学校の行事として行われるとは、例を挙げると、どのようなことが想定されるか。

【答】

市内でホテル開業などもあり、修学旅行の宿舎として利用される場合等を想定している。

小杉駅周辺地区 まちづくり基本構想(案)

外部委員会やパブリックコメントの意見を踏まえ修正。

- ・「パブリックコメント反映事項」
- ・まちづくり防災の観点を追加
- ・分かり易い文章表現に訂正
- ・注釈を追加

【問】

今後20年をかけた構想である。駅が多機能複合化として、図書館機能も可能性はあるのか。本市においては集約化する話があるが、弾力的に検討するののか。

【答】

公共施設個別施設計画等の各種計画と調整することが重要である。公共施設の適正配置を踏まえた上で、検討する必要がある。

IoTを活用した 実証事業の検証結果

IoTを活用した実証事業については、市民サービス向上や安全・安心に関わる実証事業に取り組み、その効果検証を行った。令和3年度では、実証事業8業務のうち3業務の本運用を予定し、新たに選定した6業務を実証予定としている。

【本運用3業務】

- ・降雨量、排水路の水位の観測
- ・雨水施設の監視
- ・ため池情報の観測

【新実証事業6業務】

- ・保育園の登降園管理
- ・保育室の室温記録
- ・乳児の午睡チェック
- ・イノシシ農の管理
- ・海洋環境の可視化支援
- ・アンダーパスの冠水状況把握

【問】

降雨量や排水路の水位の観測について、センサー設置基準や設置理由はあるのか。

【答】

センサー設置箇所については、業務担当課である下水道工務課において、これまでに水が溢れた箇所や溢れる危険性の高い箇所を選定している。

【問】

今後、センサーの設置箇所は増やす予定なのか。

【答】

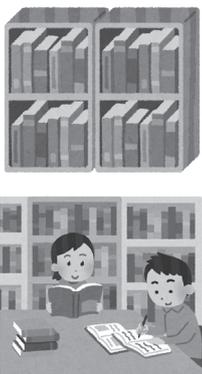
現在、重点箇所を選定しているが、今後、本運用する中で耐久性等を見極めながら、担当課と協議していきたい。

【問】

業務によっては、顔認証などプライバシーの問題もありそうだが、対応を伺う。

【答】

カメラセンサーによる属性把握については、録画は行わないこととしている。



議案23件を可決すべきものとしました。
所管事務について8件の報告を受けました。

令和2年度 射水市

後期高齢者医療事業

特別会計補正予算

(第3号)(議案第11号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8,517万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ23億5,321万9千円とする。

問 一人当たりの医療費はどのくらいか。

答 令和2年度の金額は6月頃に確定するが、令和元年度の県全体では93万1,813円であり、射水市は91万2,279円であったので、県平均より少し低くなっている。



問 射水市の傾向はどうか。

答 平成29年度は85万円であったが、令和元年度は91万円であるので、射水市としては上がっている傾向である。射水市民に特に多い症状は脳血管障害で、県内でも多いほうであり、その治療費や手術費が大きいことが関係しているのではないかと考えられる。

令和2年度 射水市

介護保険事業特別会計

補正予算

(第3号)(議案第12号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億7,043万1千円減額し、歳入歳出予算

の総額を歳入歳出それぞれ92億3,900万円とする。



問 今回の補正額の一番大きなものは保険給付費であり、事業費の確定に伴って減額になっている。介護にかかる費用が見込みより少なくなったとは、具体的にどういうことか。

答 第7期計画では、介護認定者数が令和2年度は5,483人の計画であったが、実績は5,094人であり389人の減となった。介護予防の成果等により給付費が下がってきているのではないかと考える。

公立保育園給食調理

業務委託に係る公募型

プロポーザルの結果

について

令和3年4月1日から令和6年3月31日までの3年間、給食調理業務を、片口保育園は株式会社メフォスに、大門口から保育園は株式会社魚国、総本社北陸支社にそれぞれ委託することになった。

問 現在働いている職員はどうなるのか。

答 引き続き他の保育園で勤務することとなる。

問 民間に委託する利点は何か。

答 民間活力とノウハウを活かし、より効果的・効率的に業務を実施することができる。

問 地産地消についてはどう考えるか。

答 委託後も材料の発注は市が行い、射水産を引き続き取り入れていく。



議案3件を可決すべきものとしました。
所管事務について6件の報告を受けました。

令和3年度射水市

水道事業会計予算

(議案第6号)

予算総額

35億7,629万7千円

水道料金の

電子マネーによる

スマートフォン決済

導入について

令和3年4月1日より水道料金等の納入通知書に印刷されたバーコードをスマートフォンで読み取り電子マネーで納付するもの。

問 手数料は別に発生するのか。

答 個人に対しては発生しないが、市は月額1万5千円、一件あたり57円の手数料を負担する。

問 当初予算にはどのくらいを見込んであるのか。

答 当初予算には委託料として19万8千円見込んでいます。



射水市宿泊施設

立地促進助成金

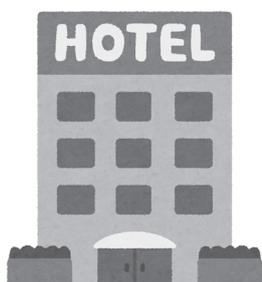
交付要綱の一部改正

について

平成30年度より施行した射水市宿泊施設立地促進助成金交付要綱について、今年度末に施行期限を迎えるが、引き続き、宿泊施設新設を促し、都市機能の充実、まちの賑わい創出及び市内経済の活性化を図るため、施行期限の延長など所要の改正を行う。

問 宿泊施設が移転・建替えた場合は対象となるのか。

答 交付要件を満たしていれば対象となる。



問 令和元年10月1日よりヴェオリア・ジエネッツ(株)に包括業務委託を開始したところであるが、現在、市としてはどのように感じているか。

答 受託事業者からの提案によって、開閉栓のウェブ受付の開始や委託前は別であった給水と排水の工事申請窓口が統一された。その他にも業務の効率化や住民サービスの向上に資する多くの提案を受け、日々市とともに協議しており、今後も官民連携による包括業務委託の効果の発揮に努めたい。



3月定例会

会期

3月1日～3月19日 19日間

議決結果一覧表

【議案】

番号	件名	結果
第2号	令和3年度射水市一般会計予算	可決
第3号	令和3年度射水市国民健康保険事業特別会計予算	可決
第4号	令和3年度射水市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
第5号	令和3年度射水市介護保険事業特別会計予算	可決
第6号	令和3年度射水市水道事業会計予算	可決
第7号	令和3年度射水市下水道事業会計予算	可決
第8号	令和3年度射水市病院事業会計予算	可決
第9号	令和2年度射水市一般会計補正予算(第12号)	可決
第10号	令和2年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決
第11号	令和2年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	可決
第12号	令和2年度射水市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
第13号	令和2年度射水市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決
第14号	令和2年度射水市病院事業会計補正予算(第4号)	可決
第15号	射水市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	可決
第16号	射水市押印の義務付け廃止に係る関係条例の整備について	可決
第17号	射水市市税条例の一部改正について	可決
第18号	射水市コミュニティセンター条例の一部改正について	可決
第19号	射水市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第20号	射水市心身障害者(児)福祉金条例の一部改正について	可決
第21号	射水市重度心身障害者等医療費助成に関する条例の一部改正について	可決
第22号	射水市福祉有償運送運営協議会条例の一部改正について	可決
第23号	射水市介護保険条例の一部改正について	可決
第24号	射水市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決

番号	件名	結果
第25号	射水市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第26号	射水市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決
第27号	射水市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
第28号	射水市国民健康保険条例の一部改正について	可決
第29号	射水市小杉ふれあいセンター条例の廃止について	可決
第30号	射水市敬老福祉年金条例の廃止について	可決
第31号	動産の取得について	可決
第32号	指定管理者の指定について	可決
第33号	損害賠償額の決定について	可決
第34号	令和2年度射水市一般会計補正予算(第13号)	可決

【同意】

番号	件名	結果
第1号	教育長の任命について	同意

【諮問】

番号	件名	結果
第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申
第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申
第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申

【議員提出議案】

番号	件名	結果
第1号	射水市議会会議規則の一部改正について	可決

【議案等議員別賛否一覧】

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	議決結果
議員名	加治 宏規	高畑 吉成	根木 武良	瀧田 孝吉	島 正己	菊 民夫	中川 一夫	中村 文隆	欠員	山崎 晋次	石黒 善隆	不後 昇	吉野 省三	伊勢 司	津田 信人	堀 義治	竹内 美津子	奈田 安弘	高橋 久和	欠員	小島 啓子	欠員	
議案第2号	○	○	×	○	○	○	○	○		○	※議長は採決に加わりません。	○	○	○	○	○	○	○	○		○		可決
議案第3号	○	○	×	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		可決
議案第4号	○	○	×	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		可決
議案第6号	○	○	×	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		可決
議案第7号	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	-	可決
議案第11号	○	○	×	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		可決
議案第15号	○	○	○	○	○	○	-	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		可決
議案第27号	○	○	×	○	○	○	○	○		○		○	○	○	×	○	○	○	○		○		可決
議案第34号	○	○	×	○	○	-	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		可決

○…賛成 ×…反対 -…退席 ※…議長は採決に加わりません。

議決結果一覧表

[議案]

番号	件名	議決年月日	結果
第1号	令和2年度射水市一般会計補正予算(第11号)	令和3年2月17日	可決

[報告]

番号	件名	議決年月日	結果
第1号	専決処分の承認を求めることについて	令和3年2月17日	承認
第2号	専決処分の報告について	—	—

議会通信

令和3年4月 常任委員会活動

総務文教常任委員会(4月19日)

令和3年1月に移転新築した「作道分団屯所」のほか、射水市内で実施した遺跡発掘調査の整理作業と発掘記録及び出土遺物の保管・管理を行っている「埋蔵文化財センター」を視察しました。

産業建設常任委員会(4月23日)

新たな賑わい創出拠点としてリニューアルを行う「足洗湊公園」のほか、補修、耐震化工事を行っている「東橋」を視察しました。

民生病院常任委員会(4月22日)

新斎場の緩衝緑地として整備された「フラワーパーク沖塚原」のほか、「大島コミュニティセンター」及び「新型コロナウイルスワクチン集団接種会場(ミライクル館)」を視察しました。

編集後記

山崎 晋次 広報委員会副委員長

将来にわたり活力に満ち、市民が夢と希望を持てる新しい射水の実現に向けて、「第2次総合計画後期実施計画」「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」など、今後のまちづくり・人づくりに関わる重要な計画がスタートしています。本市の持つポテンシャルを活かし、実現させるためには、市民の皆様と市当局、そして議会が一丸となって取り組むことが肝要だと考えます。

より開かれた議会を目指す議会報告会は、議会からの報告だけでなく、市民の皆様の思いや声を届けていただく大切な機会であり、ますます重要度が増してきます。議員全員で真摯に取り組んでいきますので、今後開催する議会報告会には、多くの市民の皆様のご参加をお待ちしています。

●広報委員会【委員長】島 正己 【副委員長】山崎 晋次

【委員】瀧田 孝吉、中村 文隆、石黒 善隆、吉野 省三、堀 義治、奈田 安弘、小島 啓子

6月定例会は、 6月7日(月)から始まります

会期日程は、決まり次第ホームページに掲載します。

詳しくは、議事調査課(TEL 51-6610)までお問い合わせください。

傍聴者数

2月臨時会

本会議 …… 3人
委員会 …… 6人

合計 9人

3月定例会

本会議 …… 26人
委員会 …… 21人

合計 47人